

ふれあいひろば

[患者とともにある全人的医療]



リウマチについて

腎臓リウマチ科 長谷川尚

はじめに：

リウマチという言葉は良く知られていますが、医学的には、大きくふたつの意味を含んでいます。ひとつは、関節がこわばったり、腫れたり、痛んだりする病気の総称。もうひとつは、その中でも、免疫の異常を背景に、慢性的に経過し、進行性の関節破壊をきたす病気、つまり、関節リウマチのこと。通常リウマチと言えば後者を意味することが多いのですが、関節の病気には、関節リウマチ以外にも様々な病気があり、これらを診療する診療科としてリウマチ科を標榜することが、1996年当時の厚生省から許可されました。頻度の高い関節の病気としては、変形性関節症、関節リウマチ、痛風、関節リウマチ以外の膠原病などがあげられます。リウマチ科を標榜する医師は関節の病気の専門医と言えますが、関節の病気には、リハビリテーションや手術療法が有効であることもあり、その診療には、理学療法士や作業療法士、整形外科医の協力が必要です。本稿では、近年、薬物療法の進歩が目覚ましい関節リウマチについて概説します。

関節リウマチとは：

近年、人間ドックでも測定されることのあるリウマトイド因子は、70～80%の関節リウマチ患者さんの血中に検出されると言われています。リウマトイド因子は自己抗体のひとつと考えられています。本来ウイルス等の異物に対して産生されるはずの抗体が、自己の成分に対して産生されることを自己抗体と言いますが、自己抗体であるリウマトイド因子が血

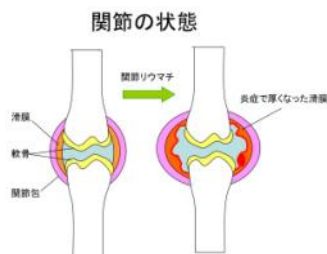


図1：関節リウマチの関節

中に検出されることに示されるように、関節リウマチは自己免疫疾患という背景をもつ、関節内の炎症を主な病態とする慢性疾患です(図1、図2)。進行すると、軟骨や関節周囲の骨の破壊をきたします。また、貧血、発熱、体重減少などの全身症状や、間質性肺炎、心膜炎、胸膜炎、血管炎などの関節以外の

症状を伴うこともあります。

発症頻度：

日本人における有病率は0.3～0.8%、女性が男性の3～4倍多いと報告されています。40歳以降に発症することが多いのですが、すべての年代で発症します。



図2：関節リウマチの患者さんの手

原因：

一卵性双生児での発症一致率は10-30%と報告されていることから、遺伝的要因は重要と考えられています。発症に関与するとされる遺伝子がいくつか報告されています。また、ウイルス感染や喫煙などの環境因子などもあげられます。しかし、多くの研究者の意見が一致した有力な発症要因は特定されておらず、複数の遺伝的要因と環境要因の相互作用により発症するものと推測されます。

悪化する機序：

何らかの発症要因により免疫反応が過剰に刺激された結果、リンパ球が活性化され、炎症性サイトカインとよばれる物質が産生されます。これらのサイトカインは、関節の炎症や破壊を引き起こします。

診断：

手首や指の関節の腫れが一定期間持続すること、血液検査で関節リウマチの目印となるような検査(リウマトイド因子や抗CCP抗体)、炎症反応、関節レントゲン検査などから総合的に診断されます。

経過：

通常、自然によくなることは少なく、悪化と改善を繰り返しながら進行することが多いと考えられます。とくに発症2年以内に関節破壊が進行するこ

とが多いと報告されていることから、この発症2年以内(実際にはできるだけ早期に)適切な抗リウマチ療法を行うことにより、その後の関節破壊が予防できることが示されています。

治療：

関節リウマチと診断された場合には、できるだけ早期にリウマチの進行を抑える作用のある抗リウマチ薬を使用することが勧められます。日本では、リマチル、アザルフィジンEN、リウマトレックスなどを用いることが多くなっています。十分量の抗リウマチ薬を使用しても効果がない場合には、生物学的製剤の使用も勧められています。生物学的製剤は、前述したように関節の破壊に関与する炎症性サイトカインの作用を直接ブロックする働きがあり、従来の抗リウマチ薬と比較するとその有効性は非常に高いことが証明されています。

しかし、肺炎等の重症感染症はもっとも中止すべき副作用のひとつで、高齢者、呼吸器疾患などの病気を有する場合には、特に注意が必要です。また、薬剤費用も高価で、容易に使用できない要因となっています。

おわりに：

近年の薬物療法の進歩は関節リウマチの患者さんに、病気の治癒という夢を現実にするのではないかという期待を抱かせるものではありませんが、副作用をいかに少なくするかについては常に念頭に置くべき課題です。さらには、薬剤費の面でもこれまで以上に経済的な治療法が開発され多くの患者さんに恩恵がもたらされることを祈るばかりです。



「早春コンサート ～ピアノと歌の調べ～」



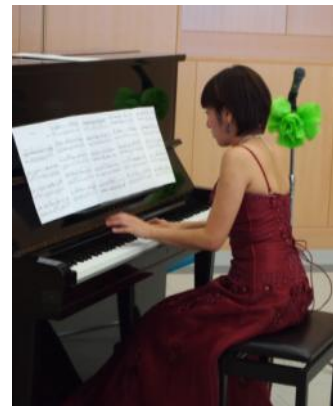
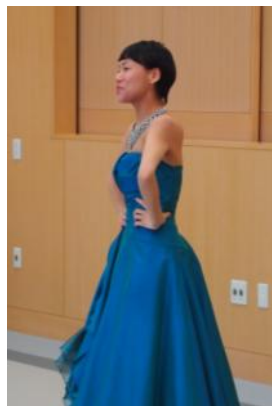
ボランティア活動推進委員会

去る2月2日、ピアノとソプラノの若い演奏者をお迎えし、院内ボランティアコンサートを開催いたしました。当日はコンサート名にふさわしく、春の陽光を感じる暖かい一日でした。

二人の楽しいトークで進行し、ポップス曲“ありがとう”(いきものがかり)から、懐かしい曲“ふるさと”や“はまべの歌”, 本格的なクラシック曲であるショパンやシューベルト, さらにオペラまで、バラエティに富んだプログラムを用意していただきました。参加者からは、「感動しました」という声をお聞きすることができました。1時間弱のあっという間のコンサートでしたが、アンコール曲 ♪見上げてごらん夜の星を♪を最後に、会場の拍手で幕を閉じました。

二人は音楽大学を卒業され、県内中心に精力的に音楽活動をされています。ソプラノの心地よい歌声が狭い講堂に鳴り響き、本格的な演奏をお届けすることができたことに感謝いたします。

楽しいひとときをありがとうございました。



院内の気になる樹

VOL.5 市民病院を彩る常緑広葉樹(照葉樹)をご紹介します。

総務課 勝又 契



モチノキ モチノキ科 樹高 6~10m

深い緑色の葉が美しい庭の主木！

温暖な地方の海に近い丘陵地や山地に自生します。庭木として良く植えられますが、ほぼ新潟県が北限とされています。樹皮から鳥モチを作るので、名前はこの特徴に由来します。

花期は4月頃

雌雄異株で秋には鮮やかな**赤い実**をつけます。ヒヨドリ等の鳥が食べて周辺に種子を運びます。



萌芽力が抜群で、強い剪定に耐えます。

モッコク ツバキ科

樹高10~15m

風格ある庭木の王様

厚く赤味が残る緑色の葉は光沢があり、高貴な美しさで庭木に重宝されます。潮害に強く、関東より西の海岸沿いに分布しています。日陰・大気汚染・病害虫にも強く、防火樹としても優れています。



モッコク・モチノキ・モクセイは**庭木の三木**と呼ばれています。



ほんのり赤味を帯びた若葉は花の様で美しい！



スダジイ ブナ科

樹高10~20m 別名/シノキ

巨樹が多く、神社や公園などに人気！

葉を沢山つけ、うっそうとした豊かな樹形になります。葉は濃い緑色ですが、裏をめくると金色っぽい灰褐色をしています。材は椎茸の原木や、薪炭・家具・建築などに利用されています。



ドングリの実には卵形で渋みが無く、生でも煎っても美味しく頂けます。

花は6月上旬に咲き、独特の芳香が有ります。

タブノキ クスノキ科 樹高15~20m

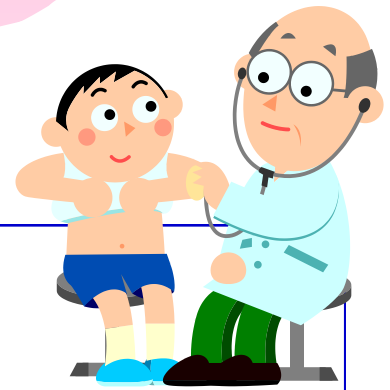
豪壮な樹形を誇る代表的な常緑照葉樹！

東北地方が北限で県内では山北までの沿海地方に分布し、新潟市内の赤塚には巨樹も多く点在しています。厚く光沢の有る葉裏は青白いのが特徴で、アオスジアゲハの食草になっています。

種子は初夏黒紫色に熟し、鳥達が食べて周辺に種子を運びます。



登録医の紹介



医 院 名：かない泌尿器科クリニック 院長：金井 利雄
診療科目：泌尿器科、内科
住 所：新潟市西区鳥原206-8
電話番号：025-201-8002
診療時間：月～水・金 9：00～12：00 15：30～18：00
木・土 9：00～12：00
休 診 日：日・祝日

自院特徴と診療方針

- ・苦痛のない内視鏡検査を心がけています。
- ・詳しくは、ホームページをご覧ください。 <http://koike-clinic.com>

医 院 名：笹出線 近江眼科 近江皮膚科 眼科：山本 晋 青木 朗子 皮膚科：山本 洋子
診療科目：眼科・皮膚科・アレルギー科
住 所：新潟市中央区上近江2-1-33
電話番号：025-280-1241
診療時間：月・火・水・金 9:30～13:00 15:00～18:00
木・土 9:30～13:00

休 診 日：日・休日

自院特徴と診療方針

- ・2010年11月に「笹出線近江皮膚科」に眼科を併設し、「笹出線 近江眼科 近江皮膚科」として再出発しました。
- ・白内障をはじめ各種日帰り手術、レーザー治療が可能です。
- ・今まで以上に良質な医療を提供できるよう、精一杯努力してまいりますのでよろしくお願い致します。



医 院 名：本町いとう内科クリニック 院長：伊藤 実
診療科目：内科、呼吸器内科、アレルギー科
住 所：新潟市中央区本町通6番町1108-1 ふらっと本町ビル3F
電話番号：025-222-4181
診療時間：月～水・金 9：00～13：00 15：30～19：00
土 9：00～13：00

休 診 日：木・日・祝日

自院特徴と診療方針

- ・呼吸器疾患、睡眠時無呼吸症候群の専門的な治療を行います。
咳が長引いている患者さん、喘息の患者さん、息切れのある患者さん、いびきがあり睡眠時無呼吸症候群が疑われる患者さんには、特に正しい診断、適切な治療が行えるように支援します。

市民病院のホームページもご覧ください

<http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

新潟市民病院 広報広聴委員会

新潟市中央区鐘木463-7

電話 025 (281) 5151

Fax 025 (281) 5187

予約センター 025-281-6600

!! 番号をよくお確かめの上、おかけください

編集後記

東北地方太平洋沖地震に被災された方にお見舞い申し上げます。

(H. A.)